

## 新成績評価基準の導入について

教養学部後期課程では、平成 26 年度より新成績評価基準を導入します。新成績評価基準では、従来の優、良、可、不可の 4 段階評価から、優上、優、良、可、不可の 5 段階評価となります。

### 【新成績評価基準】

平成 26 年度以降の成績評価は以下の基準により行われます。

評点	原評価	成績評価基準	合否
優上	90 点以上	学修目標を十分に達成し、極めて優秀である	合格
優	89～80 点	学修目標を十分に達成している	
良	79～65 点	学修目標を達成している	
可	64～50 点	学修目標を概ね達成している	
不可	49 点以下	学修目標を大幅に下回っている	不合格

### 【成績評価】

優上は履修学生の上位 5～10%程度、優は優上を含めて上位 30%程度を目安とします。なお、合格または不合格のみの評価となる科目もあります。

また、卒論、卒研、演習、実験、実習、少人数の授業科目（履修生が 20 人以下の科目）、教職課程科目、特設科目等、優上・優の割合が上記によらない科目もあります。

### 【平成 26 年度以前進学者への注意事項】

新成績評価基準は、平成 26 年度以降の成績から適用されます。

なお、平成 25 年度までに修得している成績の変更はおこなわずこれまでどおりとなります。

平成 26 年 3 月  
教務課後期課程係